

## 授業科目

## ソフトウェア演習

担当教員名 谷 賢太郎	対象学年	3	対象学科	情報
	開講時期	前期	必修・選択	選択
	単位数	1	時間数	30

## ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	○	○	○	◎

## 授業の概要

本科目では、パーソナル・コンピュータを用いて、各種ソフトウェアに関する概要と基本的操作方法を理解するとともに、各種ソフトウェアの演習を実施するという、講義と演習の繰り返しによるスタイルで授業を展開する。

## 授業の目的

主に、医療情報管理に必要な実践的なソフトウェアの知識と技術を体得する。

本演習では、具体的なソフトウェアとして、「Excel」と「Word」及び「R」を習熟することを目的とする。

## 学習目標

1. 各種ソフトウェアに関する概要と基本的操作方法を理解する。
2. 各種ソフトウェアを用いて演習をおこなう。

## 授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	ガイダンス	講義	谷 賢太郎
2	文書作成 1	演習	谷 賢太郎
3	文書作成 2	演習	谷 賢太郎
4	表計算基礎	演習	谷 賢太郎
5	表計算応用 1	演習	谷 賢太郎
6	表計算応用 2	演習	谷 賢太郎
7	表計算応用 3	演習	谷 賢太郎
8	表計算応用 4	講義	谷 賢太郎
9	R基礎 1	演習	谷 賢太郎
10	R基礎 2	演習	谷 賢太郎
11	R基礎 3	演習	谷 賢太郎
12	R応用 1	演習	谷 賢太郎
13	R応用 2	演習	谷 賢太郎
14	R応用 3	演習	谷 賢太郎
15	R応用 4	演習	谷 賢太郎

## 使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書						
参考書						
その他の資料						

## 評価方法

各回の演習課題で評価する。

## 履修上の留意点

講義時には、毎回、パソコンとLANケーブルと操作対象ソフトウェアのテキストを持参すること。  
本講義の受講前に、情報処理の授業で学習した内容について復習しておくこと。

## オフィスアワー・連絡先

授業時に確認すること